



加島五千石総鎮守

米之宮浅間神社

社報

令和6年
秋号

10月1日発行



神様の衣替え

ほのかにひんやりと吹く風が肌にしみ、木々の葉も鮮やかに色づき始め、秋の訪れを感じる季節になってきました。秋は季節の変わり目であり、衣替えをされる方も多いでしょう。

実は神様にも衣替えがあることをご存じでしょうか。私たちが衣替えをおこなう時期と同様に五月と十月に伊勢の神宮では、神様がお召しになる「神御衣」を新たにお造りし、古いものと取り替える神御衣祭（更衣祭）と呼ばれるお祭りがおこなわれます。

神御衣祭は神宮の祭祀の中でも古い由緒を持つお祭りで、皇大神宮と荒祭宮へ和妙と呼ばれる絹と荒妙と呼ばれる麻を反物の形で、御糸、御針などの御料とともに奉っています。毎年欠かさず、神々に新たな神御衣を奉る姿には、さらなる神威の発揚を期待する人々の願いが込められているように感じられます。

更衣祭は神宮だけではなく熱田神宮や賀茂御祖神社、太宰府天満宮など全国各地の神社でおこなわれます。皆様方には、このような季節のお祭りを通して、秋の訪れを実感していただくとともに、私たちの生活と神道には古くから関わりがあることに注目していただければと思います。

新嘗祭

新嘗祭は十一月二十三日に宮中および全国の神社で行われる収穫祭で、豊穰を祈る二月の祈年祭と対になるお祭りです。その起源は稲作開始の弥生時代に遡ると考へられ、『日本書紀』神代紀などにも「新嘗」という言葉を見ることが出来ます。御神恩に対する感謝の祭りとして天皇陛下自ら五穀豊穰を神々に奉告され、これに倣って全国の神社でも新嘗祭が執り行われています。



お酒について

お酒は神前にお供えする神饌の中でも、お米から直接造られるため、特に重要なものとして考えられています。神事に見られるお酒は単なる嗜好品ではなく、神様にお供えした「御神酒」を私たちがいただくことにより、神様と人々はもとより、人と人とを結び付けてくれる役割を果たしてきました。このように神様とお酒は深い関係にあります。



神社の豆知識



お稲荷様

皆様は稲荷神社にお参りした際、狐像が何か口にくわえている姿を見たことはありませんか。

各地では氏神の神社や祠、各家の屋敷神としてお稲荷様が祀られています。お稲荷様は食物の神様としても知られています。それは稲荷神社の御祭神（ウカノミタマノカミ）やオオゲツヒメノカミ、豊受大神などが五穀や食物を司る神様として祀られていることから農耕神、穀霊神としての御神格があるからです。その由来からお稲荷様の使いとされる狐を表した像が穀霊を象徴する玉や、稲束を刈る鎌をくわえています。また、穀物を納める米蔵の鍵をくわえている狐像もありますが、それは穀霊神であるのと同様に家財を守る神、家内安全の神であることに由来しています。



詳しくはこちらから

静岡県富士市本市場五八二
〇五五五(六二)〇八二九
〇五四五(六二)〇八二九

連絡先 米之宮浅間神社 社務所

千四一六〇九〇六

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受け付けています。

いつもより神さまに近い場所ので、願意を届けてみてはいかがでしょうか。

ご祈願についてのお問合せは神社まで

神社や神道について詳しくはこちらのQRからご覧ください。

